

「企業(施設)等送迎におけるより良い移動手段への転換の留意点とポイント」

本資料は、近畿圏内で送迎を実施する企業（施設）等へのアンケートやヒアリング、また全国モデルとなる事例から、地域の実情にあったより良い移動手段への転換を検討する際の留意点やポイントを、業種別に特に注視する傾向がみられた事項を取りまとめたものである。

■ 企業(施設)等送迎から路線バス等利用への転換

業種	商業系	教育系	医療・福祉系	企業（工場）系
送迎対象	利用者			従業員
送迎実施の理由	- 利用者の利便性・安全性確保のため - 周辺に路線バスがないから			- 路線バスはあるものの便数や輸送力が不足しているから - 夜間勤務等、路線バスのダイヤと勤務形態が合わないから - 周辺に路線バスがないから
路線バス等利用 転換にあたっての 課題・留意点等	アンケート調査では、転換可能性がみられなかった	- 利用者の利便性確保 - 防犯上の安全性確保を重視	- 高齢化に伴い、利用者のバス停までの移動がさらに困難 - アンケート調査では、福祉系施設の転換可能性がみられなかった	- アンケート調査では、従業員送迎は路線バス利用への転換可能性が一定みられた - 路線バスの運行時間帯、路線バスと鉄道との乗継など、通勤しやすさを重要視 - 夜間勤務・残業に対応したダイヤ設定
実現事例 実現のポイント	- アンケート調査では、路線バス等利用への転換に必要な条件として、「路線バスの運行時間帯」「路線バスと電車との乗継」「バス停まで徒歩圏域」が多い傾向がみられた - このため、路線バス等の運行範囲を企業（施設）等を含めたルートに拡大し、あわせて運行本数を増加や鉄道との乗り継ぎに配慮したダイヤ設定をするなどの充実が必要 【既存路線バス等の充実に必要な費用確保、運行収益増加の例】 ①送迎から路線バス等への転換によって、運行を縮小・廃止できる企業（施設）等から公共交通事業者へ、立ち寄り先追加に対する負担金（協力金）等による協力・支援（報告書P6-5参照） ②ルート拡大により追加した立ち寄り先の企業（施設）等が、乗車券を一括購入することで、公共交通事業者は安定的な収益確保。送迎利用者には、企業（施設）等から全線フリー乗車券等を発行して利便性を向上させることで、企業（施設）等の集客力を増強（報告書P5-3～P5-5参照） ③地域や立ち寄り先企業（施設）等が連携した利用促進（飲食店別時刻表の作成・提供など（報告書P5-16参照））			

■ 企業(施設)等送迎に地域住民同乗

業種	商業系	教育系	医療・福祉系	企業（工場）系
送迎対象	利用者			従業員
送迎実施の理由	- 利用者の利便性・安全性確保のため - 周辺に路線バスがないから			- 路線バスはあるものの便数や輸送力が不足しているから - 夜間勤務等、路線バスのダイヤと勤務形態が合わないから - 周辺に路線バスがないから
地域住民同乗 にあたっての 課題・留意点等	乗客の範囲拡大はできない理由として、「無償運行であるため」が最も多い	アンケート調査では防犯上のリスクを要因として特に難しい傾向がみられる一方で、既に地域住民が同乗されている事例がある	- 利用者の高齢化に伴い乗降サポートが必要 - アンケート調査では乗客の範囲拡大はできないとする声が多い一方で、医療系では既に地域住民が同乗されている事例も複数 - 自社送迎の場合、運転者は他の業務と運転業務とを兼ねている割合が高い - 事故リスクや苦情対応への懸念	- 残業など勤務状況にあわせて時間・便数を調整されている場合がある - 事故リスクへの懸念
実現事例 実現のポイント	アンケート調査では、同乗の可能性がみられなかった	- 説明会を開催し、地域の声を踏まえた対応策を検討 - 車内に防犯カメラを設置（報告書P5-15参照）	- 調整可能な事項として「運行時間帯」「運行ルート」を挙げる施設がみられた - 福祉系施設において、施設利用者の買い物など非通所日の移動支援を実施されている事例がある - 保険加入による事故リスクへの対応	- 調整可能な事項として「運行時間帯」「運行頻度」を挙げる企業がみられた - 保険加入による事故リスク対応
【「運行費用補填」「車両提供」等の費用確保の例】 ①自治体等による協力・支援（報告書P4-12参照） ②地域住民同乗を実施することで運行を縮小・廃止できる公共交通実施主体や送迎実施企業（施設）等からの負担金（協力金）等による協力・支援（報告書P6-6参照） - 新設するバス停の設置や設置場所の無償提供、また時刻表に関係者の広告を掲載するなどの協力・支援 - 無償運行から有償運行への転換にあたり、通学時間帯はスクールバスとして無償運行を行い、その他の時間帯は同一ルート、同一車両で有償運行を実施している事例がある（報告書P5-15参照）				